

2019年9月3日

「同時性腹膜転移を伴う大腸癌に対する治療成績の検討」

1. 研究の対象

2014年1月から2018年12月の間に、当センターで大腸癌の手術をされ、同時性腹膜転移を伴っていた方。

2. 研究目的・方法

【目的】同時性腹膜転移を伴う大腸癌の治療成績から、適切な治療法を検討する。

【方法】対象患者さんの3. 研究に用いる情報をカルテより抽出し調査を行う。

【研究期間】倫理委員会承認後～2020年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、診断名、手術内容、病理診断、合併症、再発、予後など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター消化器外科

研究責任者：副部長 小森孝通

電話 06-6692-1201